

政策 03 快適な生活を支えるまちづくり

施策 02 快適に移動できる交通基盤の整備

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
市内・市外への移動を円滑に行うことができます。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	市外への移動が円滑に行えると思う市民の割合 (%)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対基準値
		【都市計画課】	87.3	91.5	-	92
評価	R4はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対前年度
		(比較不可)	目標達成度	(---)		

指標	市内の移動が円滑に行えると思う市民の割合 (%)	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対基準値
		【都市計画課】	83.2	87.5	-	90
評価	R4はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対前年度
		(比較不可)	目標達成度	(---)		

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 公共交通による移動手段の確保

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	市内の移動に困っている市民の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【都市計画課】	11.8	10.3	-	10	
評価	R4はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対 前年度
		(比較不可)	(比較不可)	目 標 達成度	(---)	

基本事業02 駅・駅周辺施設の整備

指標	駅前広場の整備率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【都市計画課】	75	75	75	75	
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値の変動はなかった。 (原因) 三郷駅前広場の整備が着手に至っていないことに因るものである。					対 前年度
		(横ばい)	(横ばい)	目 標 達成度		(達成)

基本事業02 駅・駅周辺施設の整備

指標	駅・駅周辺施設の利用者満足度（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【都市計画課】	71.1	74.8	-	75	
評価	R4はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対 前年度
		(比較不可)	(比較不可)	目 標 達成度	(---)	

基本事業02 駅・駅周辺施設の整備

指標	駅のバリアフリー化率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【都市計画課】	75	75	100	100	
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、現状値が25ポイント増加した。 (原因) 印場駅のバリアフリー化工事が完了したことによって、市内の鉄道駅の全てがバリアフリー化したことに因るものである。					対 前年度
		(向上)	(向上)	目 標 達成度		(達成)

基本事業03 幹線道路整備の推進

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	自動車での幹線道路利用による満足度（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【都市計画課】	73.4	80.8	-	85	
評価	R4はまづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業04 生活道路の整備と維持管理

指標	歩道のバリアフリー化実施箇所数（箇所）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【土木管理課】	355	394	397	390	☀
評価	(状況) 前年度実績値に比べ、現状値が3ポイント増加し、目標値を到達している。 (原因) 順調にバリアフリー化対応を行っている成果である。					対 前年度
						(向上)
						目 標 達 成 度
						☀ (向上)
						☀ (達成)

基本事業04 生活道路の整備と維持管理

指標	市民により生活道路等が維持管理されている箇所数（箇所）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【土木管理課】	13	16	18	19	☀
評価	(状況) 前年度実績値に比べ、現状値が2ポイント増加した。 (原因) 参加の呼びかけを行い、道路美化活動団体が2団体増加したことに因るものである。					対 前年度
						(向上)
						目 標 達 成 度
						☀ (向上)
						(---)

基本事業04 生活道路の整備と維持管理

指標	道路管理の瑕疵により損害賠償の対象となった件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【土木管理課】	0	2	3	0	☔
評価	(状況) 前年度の実績値に比べ、1ポイント低下した。 (原因) パトロール等による道路損傷の状況把握が万全ではなかったことが原因のひとつである。					対 前年度
						(低下)
						目 標 達 成 度
						☔ (低下)
						(---)